

愛知

協会けんぽ愛知支部と協定締結・緑十字展での周知活動について

愛知産業保健総合支援センター 副所長 湯本 一史

令和5年9月19日に全国健康保険協会愛知支部（以下「愛知支部」という）と愛知産業保健総合支援センター（以下「当センター」という）の間で「愛知県民の健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定書」を結びました。全国健康保険協会は主に中小企業にお勤めの方とそのご家族が加入する日本最大の医療保険者であり、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図ることを協会の基本使命とし、保険給付はもとより、さまざまな保健活動を行っています。

各県に支部を持っており、愛知県の場合は愛知支部になります。愛知支部では令和5年度の健康宣言登録事業場数が9,000社で全国1位の実績となっており、今回の協定を通じ、愛知県内の多数の労働者及び事業主に対して発信力がある愛知支部と、事業場における産業保健活動に対してのさまざまなサービスを提供できる当センターが協力・連携することによって、労働者の心身の健康増進に取り組むこと、すなわち、メンタルヘルス対策や治療と仕事の両立支援など具体的な産業保健活動に取り組む事業場を増やすことを目的とするものです。

協会けんぽの加入事業者の多くが中小企業であることから、初めに、当センター及び地域窓口で行っている中小企業向けの支援として実施している、健康診断結果についての医師からの意見聴取、治療と仕事の両立支援、メンタルヘルス対策支援について分かりやすく記載した

コラムを、愛知支部が発行する「けんぽ委員だより」の誌面にて「教えて さんぽ!」というタイトルで令和4年9月号～令和5年4月号までの全8回の長期連載をさせていただきました。また、愛知支部が発行する「健康宣言サポートBOOK」のなかにも当センターの事業紹介と活用促進を掲載いただきました。

また、協会けんぽに寄せられた事業主の意見として、メンタルヘルスに関して分からないことが多いということから、愛知支部と当センターが共同でメンタルヘルスに関して事例に応じた動画を複数作成し、愛知支部のHP（協会けんぽ愛知支部コラボヘルス>応援団の部室）に公開しております。この動画のなかでも当センターへの利用を勧奨しています。このように、産業保健活動の充実を目指す意欲の高い加入者・事業主の皆様に対しての周知活動を通じて、産業保健活動及び当センターの理解を深め、無料の事業場訪問支援により社内体制づくりの充実を通してお役に立てればと思っております。



協会けんぽとの調停式

今年度、全国産業安全衛生大会が令和5年9月27日から29日までの3日間名古屋市で開催され、全国産業安全衛生大会と同時開催された緑十字展に当センターも参加しました。全国産業安全衛生大会は毎年全国各地で開催しており、今年で82回、愛知県での開催は8年振りになります。厚生労働省をはじめとしてさまざまな公的機関が後援し、来場者人数も多く、産業安全衛生関係の大きなイベントのひとつです。緑十字展は、全国産業安全衛生大会と同時に開催される安全衛生関係の展示等を行う大規模な展示会になります（今年度は223の会社・団体が参加し、来場人数は3日間で約2万5千人でした）。

昨年度は福岡県で開催され、福岡産保センターも参加しており、当センターも周知活動の一環として参加しました。今回の緑十字展については昨年度に入ってから急遽参加を決めたこともあり、限られた予算のなかで展示テーマを何にするかも含めバタバタで進みましたが、当センターのアピールとして、当センターの概略、両立支援に係る説明及び実際に行った両立支援の好事例をまとめたポスター展示、愛知支部との連携において産業保健活動を分かりやすく解説した連載コラム「教えてさんぽ!」8回分を1冊のリーフレットに印刷製本した資料の配布、連携活動の一環として中部労災病院の糖尿病治療と仕事の両立支援活動やそれとともなう「就労と糖尿病治療両立支援手帳」「中部労災病院オリジナル健康レシピ本」等を周知しました。

開催期間中には、産業保健関係者を中心に多くの方にブースを訪れていただき、ポスターの内容、当セン

連載コラム 第1回

教えてさんぽ!

さんぽセンター(産業保健総合支援センター)ってどんなところ?

皆様、はじめまして。産業保健事業紹介の連載コラムを担当いたします愛知産業保健総合支援センターです。この連載コラムでは、ここから先の健康と快適な職場づくりをサポートするために、皆様にとって出来る限り有益な情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

早速ですが、皆様は「産業保健総合支援センター」(「通称さんぽセンター」)をご存知でしょうか?さんぽセンターは全国47か所あり、愛知さんぽセンターは栄のNHK名古屋放送センタービル2階にあります。さんぽセンターは厚生労働省が所管する「独立行政法人 労働者健康安全機構」の運営する公的な機関です。労働保険料が財源であり、産業保健に関する研修や相談等を無料で実施しています。社員の健康管理に携わる方(事業主・人事労務担当者・衛生管理者・産業医・看護職等)などなたでもご利用いただけます。

さんぽセンター Webひろば おしえて!谷原さん

併席の谷原 介さんがさんぽセンターの活動について分かりやすくご紹介しています。
<https://www.inhas.go.jp/in/pictals/0/sannocenter/webhiroba.html>

産業保健とは?

産業保健とは、ひとことでは、企業等が職場において、「健康で安心して働ける職場づくりを行う活動」のことです。企業では事業活動を通じて多くの付加価値を生み出していますが、その付加価値の源泉は「人材」であり、「健康で安心して働ける職場づくり」、即ち、「産業保健」が企業発展の基盤となります。

さんぽセンターで行っていること (今後の連載コラムで詳しくご案内!)

【専門的研修・相談】

- 各分野の専門家が講師 相談員として対応
産業医 精神科医 大学教授 弁護士 社労士 精神保健福祉士 保健師 など
- 対象別研修
～集合/WEB形式～
産業医 医師/産業看護職/衛生管理者 人事労務担当者

【心身の健康問題のご相談】

- メンタルヘルス対策
～管理監督者教育若年労働者教育～
・メンタル不調者への対応について
・休職中の労働者の復職支援/溢れ
・ストレスチェック導入の留意点
- 治療と仕事の両立支援
～社内教育(両立支援の産/ガイドライン解説)～
・がんなどの病気の治療を続けながら働いている人への具体的な配慮について(両立支援プラン)
・社内規程の滞りや見直しをサポート
・主治医/会社関係者/労働者との個別調整支援

電話・メール相談
事業場訪問支援あり
啓発セミナー対応(要相談)

【産業保健に関する情報提供・広報啓発】

- ホームページ、メールマガジンによる産業保健情報のお届け
- 情報誌「産業保健 21」(inhas.go.jp)「記事の例」
・産業保健スタッフ必携!
おさえておきたい基本判例
・中小企業の産業保健(取り組み事例紹介)

**独立行政法人 労働者健康安全機構
愛知産業保健総合支援センター**

〒461-0005 名古屋市長栄区栄 1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階
TEL: 052-950-8378 FAX: 052-950-8377
ご利用時間 午前8時30分～午後5時15分(毎週土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

ご利用:
お問合わせは
ご所属の
ホームページより

「教えてさんぽ!」の誌面

ター事業活用についての質問も多く受け、当センターのアピールができてよかったと思っております。愛知県内における当センターの認知度が高いとは言えないなか、認知度向上のためにもさまざまな場所で周知活動を繰り返すことが大事だと思いました。

また、今年度は看護大学生の研修も受け入れることとなっており、これからの産業保健の現場で活躍する若い方々に産保センターの役割や支援事業の重要性を理解していただく機会になればと思っております。今後もさまざまな団体と連携し、地域に根差した活動ができればと思っておりますので気軽にお声をかけていただければと思います。